

1 塗装対象

屋内木部(天井、床、腰板等)全般
 木製家具 / 木製建具
 屋外木部(ウッドデッキ、外壁等)全般

2 仕上げ

カラー	塗装後の仕上がり
AK01 杉の赤身けし色	木目を活かす仕上がり(ふきとり塗装) / ツヤなし
	木目をつぶす仕上がり(塗りっぱなし塗装) / 2分ツヤ~半ツヤ

3 塗装工程

工程		塗料製品名	希釈剤 (希釈率%)	標準塗布量 (ml / m ²)	塗り回数	その他
事前準備	① サンプル	事前にサンプルを入手し、ご利用の木での試し塗りを推奨。(当社ホームページより入手可)				
	② 塗装する木材の含水率	塗装する木材の含水率は20%以下が適しています。				
	③ 汚れ取り	埃、水分、油分を除去し、ヤニは、研磨、溶剤処理にて取り除いてください。				
	④ サンドペーパー掛け	必要に応じて、サンドペーパー(#180~240が目安)にて研磨してください。				
塗装工程	⑤ 攪拌	使用前によく攪拌してください。(特にカラー系は顔料が沈殿しているため、よく攪拌してください。)				
	⑥ 1回目 本塗装	木守り専科 杉の赤身けし HARD (AK01 杉の赤身けし色) <small>☞ 告示対象外製品。F☆☆☆☆と同様使用面積制限はありません。</small>	無希釈	50	1回目	薄塗
	⑦ (ふきとり(不要))+乾燥	屋内ではふきとり、屋外では耐候性を高めるため、塗りっぱなしで施工。本塗装後、約24時間乾燥させてください。				
	⑧ 2回目 仕上げ塗装 (屋外の場合)	木守り専科 杉の赤身けし HARD (AK01 杉の赤身けし色) <small>☞ 告示対象外製品。F☆☆☆☆と同様使用面積制限はありません。</small>	無希釈	33~50	2回目	薄塗
	⑨ (ふきとり(不要))+乾燥	1回目の塗装が完全に乾いた後、1回目と同様に2回目を塗装。約24時間乾燥させてください。				

4 注意事項

- ① 本塗装は、刷毛(市販の油性塗料用で、豚毛、馬毛等やや硬めのコシの強いもの)、またはコテバケ、スポンジ、布(ウェス)等で、薄く均一に行ってください。
- ② 塗装用具の洗浄には「U-OIL クリーナー」をご利用ください。(いずれもパンフレットを参照)
- ③ 杉の赤身材の赤みがかなり強い場合は、1回塗装では赤みをカバーできない場合があります。その際は、塗装回数を増やす、もしくは塗りっぱなしでの塗装を推奨します。
- ④ 夏場の高温時は乾燥が速まることがありますので、ふきとり仕上げの際は早めのふきとりをおすすめします。長い時間放置すると塗料が乾燥し、色ムラになることがあります。
- ⑤ 冬場の低温時、湿度が高い時は、乾燥が極端に遅くなる場合がございますので、その際は長めに乾燥時間を取ってください。
- ⑥ 使用した刷毛、コテバケ、スポンジ、布(ウェス)等は自然発火の恐れがありますので、水を含んだ状態、または焼却にて処分してください。

